千曲

1日から市内店舗で販売

アプリコット・ドリンク開発

千曲商工会議所（長野県）は1日より、地元のアンズを使用して新開発した「アプリコット・ドリンク」を、市内の飲食店を中心とした10店舗で販売する。千曲市はアンズの生産が盛んであり、同所はこれまで、この特産品であるアンズを使った商品を、菓子から工芸品まで地域ブランド「杏都（きょうと）」として広める取り組みを行ってきた。

今回販売開始するアプリコット・ドリンクは、その取り組みの一環として同所が市内の飲食店などと共に開発したものだ。カクテルやスムージーなど12種類のドリンクが誕生。2月には、1店で1杯試飲できる「試飲キャンペーン」を実施した。1日からは千曲の春の恒例行事、「あんずまつり」（16日まで）が開催、ドリンクを祭りと共に楽しんでもらおうと同所はPRに力を入れている。詳細は「http://chikumaacci.jp/?p=16821」を参照。

新商品のアプリコット・ドリンクの一例

2017年4月1日　会議所ニュース（日本商工会議所）（C)日本商工会議所　無断複製転載を禁じます。